

製品安全データシート

作成日：2007 年 08 月 27 日
改訂日：2024 年 12 月 17 日
確認日：2024 年 12 月 17 日

1. 化学品及び会社情報	
製品名 [構成品名] 他の特定手段 供給者の会社名称、住所及び電話番号 緊急連絡電話番号 推奨用途 使用上の制限	HISCL 洗浄液 シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 5 番 1 号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台 4 丁目 4 番地の 4 TEL：(078) 991-1911 TEL：(078) 991-1911 臨床検査測定用 推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類 物理化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性 GHS ラベル要素 絵表示 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 安全対策 応急措置	分類できない 皮膚感作性 区分 1 区分に該当しない  GHS07 感嘆符 警告 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと P280 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察を受けること

保管	P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
廃棄	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること 情報なし
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物(水溶液)
成分の化学名	1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン
濃度又は濃度範囲	0.05 %以上 1.00%未満
CAS 番号	2634-33-5
化審法 官報整理番号	9-1845
安衛法 官報整理番号	規則別表第 2 の 1914
4. 応急措置	
必要な応急処置の説明	
吸入した場合	鼻をぬるま湯で洗い流しうがいをする。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに大量の水で数分間洗い流すこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察を受けること。汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。
眼に入った場合	コンタクトレンズを外し、流水で目を十分に洗うこと(少なくとも 10～15 分)。直ちに医師の診察を受けること
飲み込んだ場合	口を漱ぐこと。直ちに医師の診察を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候 症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	二酸化炭素
使ってはならない消火剤	高出力水噴流
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水、土壌に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い 安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	情報なし
設備対策	情報なし
保護具 呼吸用保護具	適切な保護マスクを着用すること。
手・皮膚の保護具	適切な保護手袋、保護衣を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具(保護眼鏡等)を着用すること。
9.物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.4
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし

相対ガス密度 粒子特性 その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし データなし データなし
10.安定性及び反応性	
反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	使用目的に沿って取扱えば危険な反応は起こりません。 通常の取扱いで安定。 使用目的に応じた取扱いをしてください。危険な反応は起こりません。 使用目的に沿って処理される場合は無し。 情報なし。 使用目的に沿って処理される場合は無し。
11. 有害性情報	
急性毒性 経口 経皮 吸入 皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 誤えん有害性 その他の情報	区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 皮膚感作性 区分 1 に該当する物質を混合物中に 0.1%以上含むため区分 1 に該当。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 区分に該当しない。 情報なし 情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性 水生環境有害性、短期(急性) 水生環境有害性、長期(慢性) 残留性・分解性 生態蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性 その他の有害性	情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情	

報	
残余廃棄物	法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が行っている場合にはそこに委託して処理する。
付着している汚染容器及び包装	内容物を除去したのち、法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報（IMO）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書Ⅱ 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	輸送危険物には該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に損傷や漏れがないことを確認し、転倒・落下による損傷がないように積載し、荷崩れの防止を確実に行うこと。直接日光が当たらないように積載すること。

15. 適用法令

薬機法	体外診断用医薬品
安衛法	1, 2 - ベンゾチアゾリン - 3 - オン ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 規則別表第 2 の 1914 ただし薬機法に該当するため、安衛法は適用されない。
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当

スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 安衛法：労働安全衛生法
データの主要な文献参照と出典	NITE GHS 分類公表データ